

(別紙報告様式)

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(令和6年度報告)

市町名：竹原市

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価	
										獣種	被害金額			被害面積			
											目標値	実績値	達成率	目標値	実績値		達成率
竹原市有害鳥獣駆除 対策協議会	竹原市	R4	イノシシ	捕獲用箱ワナの購入	5基	竹原市有 害鳥獣駆 除対策協 議会	R4.6	100%	【捕獲わなの整備】 ○捕獲頭数実績 ・イノシシ R3：570頭 R4：616頭 R5：550頭 R6：610頭 ・シカ R3：411頭 R4：497頭 R5：487頭 R6：555頭 ・タヌキ、キツネ、ヌートリア R3：77頭 R4：48頭 R5：68頭 R6：90頭 【侵入防止柵の整備】 侵入防止柵の整備を行 い、イノシシ・シカ・カラス による受益圃場の農作 物被害を防いでいる。	合計 イノシシ シカ タヌキ・キツネ・ ヌートリア カラス・スズメ	万円	万円		ha	ha	%	【評価】 被害金額についてはー 526%、被害面積についてはー 211%の達成状況であった。 鳥獣ごとにみると、イノシシ・ シカは、捕獲及び侵入防止柵 (ワイヤーメッシュ柵)等、一体 的に対策を行い、捕獲頭数は どちらも増加傾向にある。被 害については、イノシシ・シカ ともブドウやレンコン等、比較 的高単価の作物の被害が増 加し、被害金額・面積ともに大 きく増加となった。 鳥類は、カラス対策を行って いないブドウほ場での被害が 急増し、被害金額・面積とも大 きく増加となった。 【今後の取組】 ○イノシシ・シカ 捕獲については、今後も継 続して実施する。 侵入防止柵については、令 和6年度に被害の急増した農 地において、被害の低減のた め侵入防止柵の整備を実施 するとともに効果的な対策の 普及を図る。 ○鳥類 カラスによるブドウ被害の軽 減のため、R4年度から軽量ワ イヤーを用いた侵入防止施設 の整備を実施してきた。 しかし対策未実施のほ場 において被害が増加したため、 R7年度以降の被害ほ場での 対策の普及を図る。
			小動物	捕獲用箱ワナの購入	2基		R4.6	100%			1,083	2754	ー526%	3.75	5.74	ー211%	
		R5	イノシシ	捕獲用箱ワナの購入	4基		R5.9	100%			300	716	ー1161%	1.94	2.6	ー200%	
		R6	イノシシ	捕獲用箱ワナの購入	5基		R7.2	100%			84	466	ー4144%	0.84	1.62	ー680%	
竹原市	竹原市小 梨地区	R4	イノシシ・ シカ	侵入防止柵の設置 (ワイヤーメッシュ柵)	H=2m、L=700m	株式会社八 天堂ファーム	R4.6.17	100%		32	40	ー208%	0.1	0.19	ー200%		
	竹原市竹 原地区		カラス	カラス侵入防止施設(弾 性ポール、防鳥ワイ ヤー他)	H=3.2m、11,325㎡	竹原ぶどう 部会	R4.12.31	100%		667	1532	ー289%	0.87	1.33	ー59%		
	竹原市竹 原地区	R5	カラス	カラス侵入防止施設(弾 性ポール、防鳥ワイ ヤー他)	H=3.2m、6,606㎡	竹原ぶどう 部会	R6.3.15	100%									
	竹原市竹 原地区		カラス	カラス侵入防止施設(弾 性ポール、防鳥ワイ ヤー他)	H=3.2m、4,863㎡	竹原ぶどう 部会	R6.3.15	100%									
	竹原市小 梨地区		カラス	カラス侵入防止施設(弾 性ポール、防鳥ワイ ヤー他)	H=3.2m、8,129㎡	株式会社八 天堂ファーム	R5.12.28	100%									
	竹原市小 梨地区		イノシシ	侵入防止柵の設置 (ワイヤーメッシュ柵)	H=1.2m、L=659m	小梨地区農 業者代表 渡橋達也	R6.3.8	100%									
	竹原市竹 原地区		イノシシ	侵入防止柵の設置 (ワイヤーメッシュ柵)	H=1.2m、 L=1,387m	吉崎地区農 業者代表 赤坂佳折	R6.3.15	100%									
	竹原市竹 原地区	R6	イノシシ	侵入防止柵の設置 (ワイヤーメッシュ柵)	H=1.2m、L=9,007m	竹原ぶどう 部会	R7.3.7	100%									
	竹原市田 万里地区		イノシシ	侵入防止柵の設置 (ワイヤーメッシュ柵)	H=1.2m、L=502m	株式会社笑 福蓮根	R7.3.14	100%									
	竹原市小 梨地区		イノシシ	侵入防止柵の設置 (ワイヤーメッシュ柵)	H=1.2m、L=1,118m	小梨地区農 業者代表 渡橋達也	R7.3.14	100%									

注1)被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。
注2)達成率の算出方法については「実績値(＝基準年値－実績値)／目標値(＝基準年値－目標値)」であるとして算出してください。

2 第三者の意見

竹原市における鳥獣被害防止総合対策事業は、地域の实情に即した多面的な対策を講じており、捕獲用箱ワナの整備や侵入防止柵の設置、カラス対策施設の導入など、対象鳥獣ごとに工夫された取り組みが展開されている点は高く評価できる。特に、供用開始後の稼働率がいずれも100%であることから、事業実施主体および関係農業者による管理体制が機能していることがうかがえる。 一方で、被害防止計画における目標値と実績値の乖離が著しく、被害金額・面積ともに大幅な増加が見られた点は課題である。イノシシ・シカによる高単価作物(ブドウ・レンコン等)への被害、ならびにカラスによるブドウほ場への被害が顕著であり、特にカラス対策未実施区域での被害急増は、対策の面的展開の必要性を示している。 捕獲頭数は年々増加傾向にあるものの、被害の抑制には至っていないことから、捕獲と防護の両面における更なる戦略的強化が求められる。今後は、被害発生地の重点化、対策の優先順位付け、及び効果検証の仕組みの導入が重要である。また、被害防止計画の目標設定においては、達成可能性と実効性を踏まえた現実的な数値設定と、達成度を測るための明確な指標の整備が望まれる。 総じて、竹原市の事業は地域の農業生産活動を守るための重要な取り組みであり、今後も地域主体による継続的な対策と、行政・関係団体との連携による支援体制の強化が期待される。 一般社団法人広島県鳥獣対策等地域支援機構
注)第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。